

事例

消灯時間になると、落ち着かなくなり、眠れない高齢者のAさん。毎晩消灯前に入眠剤（睡眠薬）を内服していますが、「眠れない、眠れない。」と繰り返し、自室を抜け出し施設内を歩き回っています。

医師からは入眠剤について「一日 1 錠10mg 就寝直前服用」という指示が出ており、今日も就寝時（消灯前）に10mg 1錠を内服しています。それでも消灯後の暗い施設内を歩き回るAさんに対し、介護職員のXさんは、「部屋から出たらダメだよ！ベッドでじっとして！ウロウロするなら部屋に鍵かけるよ。」といいながら、脇をかかえて居室に無理やり連れ戻しました。ベッドに戻してもなかなか寝ないため、看護職員のYさんに入眠剤を追加で内服させてもいいか確認しました。Yさんは、いつも飲んでる薬だから大丈夫だろうと判断し、就寝時に内服している薬を半分、追加で飲ませました。

フェーズ 1

<気になる言動を考えてみよう>

・事例を読んで、気になる言動は何でしょうか？

フェーズ 2

<高齢者の気持ちを考えてみよう>

・そのような言動をされて高齢者はどう感じたでしょうか？

- 考えてみようポイント：一方的な思いでケアをしていませんか？
- ：高齢者の尊厳を傷付けていませんか？



虐待の類型を考えてみよう。

フェーズ 3

<職員の気持ち、言動に至った職員の要因や背景を考えてみよう>

・なぜ、そのようなことが起こったのでしょうか？原因を含めて考えてみましょう。

フェーズ 4

<対応方法を考えてみよう>

・このような言動や状況を見聞きした時、どうしますか？

フェーズ 5

<できることを考えてみよう>

- ・そのようなことが起こらないためにできることを考えてみましょう。
- ・実現可能性の有無は考えません。
- ・出た意見はすべて付箋に記載する。

フェーズ 6

<実現する方法を考えてみよう>

・「個人で」「チームで」「組織で」対応することに分けてみましょう。